

9 規則別表第1の4の項に掲げる事業（以下「飛行場設置事業」という。）

環境要素の区分 (細区分)		影響要因の区分 (細区分)			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用		
					建設機械の稼働	資材及び機械の運搬	に用いる車両の運行	造成等の施工による	一時的な影響	飛行場の存在
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○				○	○
			粉じん等	○	○	○				
		騒音	騒音	○	○				○	
	水環境	水質	水の濁り				○			
			水の汚れ							○
	土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質						○	
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物		重要な種及び注目すべき生息地	○	○	○	○			
	植物		重要な種及び群落			○	○			
	生態系		地域を特徴づける生態系	○	○	○	○			
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観					○		
	人と自然の触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○			○		
環境への負荷の量の程度に及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		廃棄物				○			
			建設工事に伴う副産物				○			
一般環境中の放射線物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素	放射線の量			○※	○※	○※				
備考										
<p>1 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>2 この表における「影響要因の区分」は、次に掲げる飛行場建設事業における一般的な事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>ア 建設機械を用いて、飛行場及びその施設の設置又は変更に係る工事を行う。</p> <p>イ 車両により、資材及び機械の運搬を行う。</p> <p>ウ 造成等の施工として、樹木の伐採等、掘削、地盤改良、盛土等による敷地、搬入道路の造成、整地を行う。</p> <p>エ 工事の完了後、当該事業の目的である施設が存在し、かつ、当該飛行場が航空機の運航の用に共される。</p>										